

国分寺市にふるさとをつくる会

194号 平成30年5月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 白木 昭憲

〒185-0024 東京都国分寺市泉町2-6-2-404

Tel : 090-6034-4616 Fax:042-324-2125

E-mail: shiraki @way.ocn.ne.jp

春のグリーンズ・ツア・ウォーク 実施報告

催事責任者 二瓶文博

4月1日(日)に、「日立中研の桜と野川の自然を愛でる」というタイトルで、日立中研の公開日に合わせて、第33回グリーンズ・ツア・ウォークを実施しました。今回は、国分寺駅から出発し、まず日立中研の桜を混雑する前にゆっくり眺め、その後野川の川辺の桜や野草などの自然を観察しながらJR武蔵小金井駅に出るルート歩きをしました。

今年は異常な天候の影響で桜の開花が記録的に早くなり、4月1日には全部散ってしまうのではないかとハラハラしましたが、神様のご配慮で、その後気温が下がり、当日は立派な桜を鑑賞することができました。また、日立中研の近くにある縄文時代の遺跡の見学などを交えて、武蔵野の地理や歴史にも触れていただきました。

最後に、アンケートで、今後どんなテーマを希望するかを答えていただいたところ、「多摩川の野鳥と野草」「玉川上水」、「新田開発」「野川公園の植物」「武蔵国分寺関係」等が上がり、改めて多摩地域には、自然と歴史の財産が豊富にあることを感じました。これからのウォークで、皆さんと一緒に、歩きながら味わっていきたくと思っています。

森の自然塾 29年度を振り返って

自然塾リーダー・綿貫清明

自然塾の1年は5月に始まり、翌年4月に幕を閉じます。この間に40名の子供たちは、毎月第三日曜日の午前中、エックス山の四季折々の自然を相手に様々な体験活動を行います。



例えば、風薫る昨年5月、若葉茂れるエックス山には、初めて参加する大勢の子供たちの歓声が響きました。この日のテーマは「葉脈クラフト作り」と「春の草笛合奏」でした。酷暑の真夏、緑陰の心地良い涼風のもとで「セミの生態とその一生・セミの抜け殻さがし」を専門の講師を囲んで行いました。実りの秋、落ち葉を踏みしめながらの「木の実・草の実の生態観察」。凍てつく冬、姿見の池での「バードウォッチング・水鳥観察」。このほか年間を通じて多くのプログラムが用意されました。また、天候によっては、近くの小学校の教室で自然について学習したり、「どんぐりコマ相撲対決」「クリスマス・リース作り」など盛り沢山です。毎回実施するアンケートにもあるように、どれも子供たちにとって楽しく興味深いものでした。大自然の偉大で奥深い営みを前に、自然塾での体験は、ほんの小さなキッカケに過ぎませんが、これからも 私たちスタッフは、子供たちの目線に立ち、楽しく意義深い活動となるよう努力を続けます。皆様方のご理解・ご支援を心よりお願い致します。



姿見の池ホタルの会

副代表 近藤 洋

「姿見の池ホタルの会」は「ホタルの夕べ」(養殖したホタルを姿見の池周辺に展示し来場者に見せる催し)を共催していた3団体が中心になり結成しました。その目的は姿見の池でホタルの復活をはかることです。結成以来2年になりますが、この度、結成3団体のうちの「泉山自治会」が退会することとなり、残る本会(ふるさとの会)と「緑と自然を育てる会」の2団体と個人会員約20名で継続することとなりました。その具体的な活動は月2回(第1、第4日曜日の午前中)の姿見の池周辺のホタルの生育環境などの整備と有志によるホタルやその餌となる貝類の養殖や放流)です。

姿見の池周辺の整備活動には「ホタル」の会以外の東京経済大学の学生をはじめとするボランティア多数の参加を得て活発に行われています。

ホタルや餌のタニシ等貝類の放流は昨年より開始しましたが、餌の貝類の一部定着は見られましたが、約50匹放流したホタルの終齢幼虫(サナギになる直前段階の幼虫)の羽化は残念ながら確認できませんでした。

今年も昨年より環境を改善し放流を行う予定ですが、この取り組みは粘り強く続ける必要があります。

なお、今まで7年間、好評のうちに開催してきた「ホタルの夕べ」事業は「姿見の池でホタルの復活をはかる」という事業への理解協力を得る」という目的が達せられたことや費用が掛かり過ぎることから今年より中止することとなります。

コラム

ふるさとのむかしばなし

今月からこのコラムを担当させていただく「てつ」です。よろしくお願いします。第1回は国分寺のお祭りには欠かせない、神輿の前に曳かれている独特な掛け声でたたく大太鼓の話です。

いきなり市外の話ですが、国分寺のお祭りの原型となった府中大国魂神社のくらやみ祭りで、8基の神輿を先導するように曳かれる「御先払」と呼ばれる巨大な太鼓の音は、邪を払うと言われ、かつては江戸の町まで聞こえたとか。その中で今の御本社大太鼓は、1本の木をくり抜いて作ったものとしては日本一の大きさだそうです。戦争中、中国にいた府中出身の兵士が、5月5日の夜中にふと太鼓の音が聞こえたことで望郷の念に駆られたなんてお話も...

12月子ども達の作品
キャンドル・リース



森の自然塾・4月

リーダー 富村隆子

X山に春の花々が咲き、子供たちが、森の中を自由に巡って花を探して、ビンゴゲームを楽しむ・・・の予定でした。が、前夜からの雨で室内に変更せざるを得なくなりました。

大変残念ではありましたが、前日に採取した植物10数種類がテーブルに並べられ、各々が手にとって、不思議な形に驚いたり、匂いを嗅いだり又ペンペン草で遊んだりしながらも、写真と照らし合わせ考えてビンゴゲームが成立しました。

次のプログラムは「菜の花博士になろう！」です。

農家の方のご厚意で沢山の菜の花が手に入り幸運でした。

それぞれが一本の菜の花を手にして、アブラナ科植物の特徴を備に観察する事が出来ました。

ルーペを使って観察しながら、花を分解して花卉・雄しべ・雌しべ・ガクの数を調べ、又 まだ若い莢をむいて小さな並んだ種を観察、ちょっと潰してみたり。

ルーペを覗くと少し違った世界が見えます。子供たちはどんな世界を見たのでしょうか。

最後に菜の花を使った作品が仕上がって、今年度最後の自然塾は終わりました。



QRコード

ホームページをご覧ください。

- ・npo-kokubunzifurusato.jp
- ・国分寺市にふるさとをつくる会

5月行事予定

- 5月 6日(日) 姿見の池ホテルの会作業
9:30 姿見の池
- 8日(火) 多摩の自然を楽しく学ぶ会
9:30 京王線・南大沢駅改札口前
- 9日(水) 森の教室運営委員会
9:30 恋ヶ窪公民館
- 12日(土) ふるさとの会 合同幹部会議
13:00 恋ヶ窪公民館
- 12日(土) 野川源流自然再生準備会
15:10 恋ヶ窪公民館
- 16日(水) 日吉町町内会定例会
13:30 第五小学校相談室
- 20日(日) 森の自然塾
8:30 西恋ヶ窪緑地(X山)中央
- 20日(日) 環境ひろば
10:00 国分寺市役所会議室
- 26日(土) 恋ヶ窪公民館祭
10:00 恋ヶ窪公民館
- 27日(日) 恋ヶ窪公民館祭
10:00 恋ヶ窪公民館
- 27日(日) 姿見の池ホテルの会作業
9:30 姿見の池
- 27日(日) 姿見の池ホテルの会総会
14:00 都営住宅集会所
- 27日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 第九小学校図書室
- 31日(木) 会報配布準備
13:30 恋ヶ窪公民館 (印刷は13:00~)
- (注)終了次第広報委員会
- 31日(木) 多摩に歩く会会議
15:00 恋ヶ窪公民館



古代米“赤米”の稲作に取り組んでいます！

恋ヶ窪公民館主催 歴史講座「武蔵国分寺 赤米」の講座に始まり、関連する行事に多くの仲間と一緒に楽しく参加させて頂いております。

5月1日は、愈々恋ヶ窪公民館に用意したプランターに種蒔きです。公民館を訪れる際に、是非、稲の生育を確かめて下さい。

古代米とは、「学術用語ではなく、「むかしのイネが持っていたと推測される特徴を色濃く残すイネ」という意味を持っています。古代米のうち、在来品種の赤米が、西日本の三か所と、東日本の国分寺市でその存在が確認されています。(白木 昭憲)

NPO法人国分寺市にふるさとをつくる会年会費納入のお願い

会計担当理事 中尾 明長

先に会報でお願いさせて頂きました通り、平成30年度年会費納入は、例年通り先月及び当月の2ヵ月間に、貴方の担当地区委員が、領収書を持参してご訪問致します。

前納して頂いております方は、残額をお知らせし、当方でその中から引落し致します。ご不在もあり再三伺うケースもありますが、どうぞご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、昨年度銀行振込を頂きました方には、当方の銀行口座を変更致しますので、別途ご相談申し上げます。

<p>信州の自然を取入れています 建築コンサル (ふるさとの会会員無料相談) 賛助会員 文京区向丘1-5-7 (株)大気一級建築士事務所 電話 03-3812-6236 FAX 03-3812-6623</p>	<p>知事登録 般一24第118003号 一般建築お引受 田中工務店 八王子市美山町1847-1 電話 042 (651) 1285 FAX 同</p>	<p>エックスヤマ 本社はX山に位置します 自然環境保護に賛同 賛助会員 TEL 042-321-5441 国分寺市日吉町4丁目13番2 中央システム技研(株) 代表取締役 川野 誠 (長野県下伊那郡出身)</p>
---	--	---

御岳溪谷+河辺温泉「梅の湯」のご案内

日時:2018年6月2日(土)

集合:9時30分JR青梅線・軍畑駅(いくさばたけえき)改札出口前

行先:御岳溪谷、澤乃井園、御岳美術館他

解散:14時00分JR青梅線・河辺駅(かべえき)

持ち物:筆記用具・帽子・飲み物、健康

保険証(コピー不可)・雨具

お弁当・タオル

参加費用:一人500円(保険料含む)

【温泉(梅の湯)は自由参加】

募集人数:20名限定(先着順)

申込期限:2018年5月28日(月)

申込:都市緑化を考える会代表 上野直彦

〒198-0036東京都青梅市河辺町

2-1001-2-304

TEL&FAX 0428-27-2827

MOBILE 090-1656-2758

MAIL ueno@elf.ocn.ne.jp

申込は、FAXか、メールか、
申込書手渡しかでお願ひします。